



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所
 コード番号 6333 URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宮地 國雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員総務本部長 (氏名) 中村 嘉治

TEL 0791-75-4160

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,351	3.0	913	22.7	1,001	105.5	608	75.1
29年3月期第2四半期	9,076	8.1	744	23.7	487	53.8	347	47.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 599百万円 (%) 29年3月期第2四半期 424百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	30.02	
29年3月期第2四半期	17.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	32,339	24,925	76.9	1,243.31
29年3月期	33,037	24,786	75.0	1,215.80

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 24,854百万円 29年3月期 24,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		8.00	15.00
30年3月期		8.00			
30年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,333	5.5	2,304	34.6	2,371	33.6	1,527	22.0	76.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	20,400,138 株	29年3月期	20,400,138 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	352,038 株	29年3月期	12,838 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	20,259,538 株	29年3月期2Q	20,387,388 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、ハリケーンによる景気への短期的な影響が懸念されるものの、雇用環境の改善や設備投資の増加基調が続いており、景気は緩やかな回復が続いております。また欧州では、製造業が牽引役となって景気回復が続いております。さらに、中国では、政府による景気刺激策により、個人消費や民間設備投資等にプラスの影響が見られる等、持ち直しが続いており、世界経済全体としては緩やかな回復に向かっております。しかし、米国政権の動向や朝鮮半島の緊迫化等による世界経済への影響等による景気の下押しリスクは残っております。

わが国経済は、個人消費や設備投資の拡大基調が続いていることから、景気は緩やかに回復しておりますが、海外経済の不確実性への懸念から景気の先行きには不透明感が残っております。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、ポンプ事業は国内市場においては、当社の主力顧客である石油化学メーカーが、好調な業績を維持する中で設備更新を進めていることから堅調に推移しており、海外市場においては、米国市場では前期の受注不振の影響等があったものの持ち直しの兆しがあり、中国市場においても売上が回復基調であることから全体としては堅調に推移いたしました。一方、電子部品事業の売上は減少いたしました。

これらの結果、グループ全体として売上高は93億51百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

利益面につきましては、当連結会計年度より連結子会社となったHydrodyne(India)Pvt.Ltd. 社ののれん償却等により販売費及び一般管理費が増加したものの粗利率の改善等により、営業利益は9億13百万円（同22.7%増）となり、為替差益58百万円の発生等により、経常利益は10億1百万円（同105.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億8百万円（同75.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ポンプ事業

ポンプ事業は、国内市場では、冷凍機・空調機器モータポンプ、電力関連機器モータポンプ等が減少したものの、ケミカル機器モータポンプ等が増加いたしました。中国市場では、ケミカル機器モータポンプ、電力関連機器モータポンプ等が増加いたしました。また米国市場では、冷凍機・空調機器モータポンプ等が増加したものの、ケミカル機器モータポンプが減少いたしました。

その結果、売上高は81億32百万円（前年同期比5.6%増）、連結売上高に占める割合は87.0%となりました。

また、営業利益は、Hydrodyne(India)Pvt.Ltd. 社ののれん償却等の費用が増加したものの、売上の増加並びに粗利率の改善等により、7億92百万円（同15.6%増）となりました。

② 電子部品事業

電子部品事業は、売上高は10億3百万円（前年同期比14.8%減）、連結売上高に占める割合は10.7%となりました。

また、営業利益は、粗利率の改善等により、76百万円（同68.8%増）となりました。

③ その他

その他は、売上高は2億14百万円（前年同期比7.7%増）、連結売上高に占める割合は2.3%となりました。

また、営業利益は、売上の増加並びに粗利率の改善等により、44百万円（同229.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は198億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億32百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が19億46百万円減少したことによるものであります。固定資産は125億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億34百万円増加いたしました。これは主にのれんが7億88百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、323億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億97百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は54億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億45百万円減少いたしました。これは主にその他が11億54百万円減少したことによるものであります。固定負債は19億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、74億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億36百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は249億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が4億45百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.9%（前連結会計年度末は75.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月15日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成29年11月10日）公表いたしました「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び平成30年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,256,363	7,310,161
受取手形及び売掛金	7,319,867	6,855,152
製品	1,002,009	1,525,238
仕掛品	1,964,771	1,885,406
原材料及び貯蔵品	1,116,945	1,209,662
その他	1,058,855	1,328,788
貸倒引当金	△254,596	△282,252
流動資産合計	21,464,216	19,832,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,015,408	4,997,184
その他（純額）	4,127,388	4,012,499
有形固定資産合計	9,142,797	9,009,683
無形固定資産		
のれん	—	788,393
その他	436,057	441,847
無形固定資産合計	436,057	1,230,241
投資その他の資産	1,994,137	2,267,736
固定資産合計	11,572,991	12,507,660
資産合計	33,037,208	32,339,817
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,237,914	2,034,627
短期借入金	502,547	579,697
未払法人税等	223,493	473,181
製品保証引当金	17,338	9,760
賞与引当金	450,953	443,359
その他	3,081,985	1,927,938
流動負債合計	6,514,232	5,468,564
固定負債		
長期借入金	—	120,400
退職給付に係る負債	1,036,778	1,077,619
その他	699,281	747,317
固定負債合計	1,736,059	1,945,337
負債合計	8,250,292	7,413,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,118,118	3,118,118
資本剰余金	3,306,347	3,306,347
利益剰余金	17,183,663	17,628,753
自己株式	△9,803	△400,480
株主資本合計	23,598,326	23,652,739
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556,974	733,013
為替換算調整勘定	706,555	529,074
退職給付に係る調整累計額	△74,941	△59,971
その他の包括利益累計額合計	1,188,589	1,202,117
非支配株主持分	—	71,058
純資産合計	24,786,915	24,925,915
負債純資産合計	33,037,208	32,339,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,076,361	9,351,313
売上原価	5,705,416	5,626,769
売上総利益	3,370,945	3,724,543
販売費及び一般管理費	2,626,477	2,811,238
営業利益	744,467	913,304
営業外収益		
受取利息	4,651	3,038
受取配当金	18,207	19,555
受取賃貸料	13,860	15,109
為替差益	—	58,857
その他	21,502	27,702
営業外収益合計	58,221	124,264
営業外費用		
支払利息	16,629	22,173
為替差損	291,415	—
その他	7,151	13,612
営業外費用合計	315,196	35,785
経常利益	487,492	1,001,783
特別利益		
投資有価証券売却益	17,560	2,676
投資有価証券償還益	32,385	—
特別利益合計	49,945	2,676
税金等調整前四半期純利益	537,438	1,004,460
法人税等	190,134	417,384
四半期純利益	347,303	587,075
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△21,113
親会社株主に帰属する四半期純利益	347,303	608,189

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純利益	347,303	587,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,308	176,038
為替換算調整勘定	△777,275	△178,429
退職給付に係る調整額	16,091	14,970
その他の包括利益合計	△771,491	12,579
四半期包括利益	△424,188	599,655
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△424,188	621,717
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△22,061

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式339,200株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が390,677千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が400,480千円となっております。

(当四半期累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、Hydrodyne(India)Pvt.Ltd.社株式の51%を取得したため、連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において、株式会社帝和エンジニアリングは、当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,698,611	1,178,390	8,877,001	199,359	9,076,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,698,611	1,178,390	8,877,001	199,359	9,076,361
セグメント利益	685,592	45,382	730,975	13,492	744,467

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	730,975
「その他」の区分の利益	13,492
四半期連結損益計算書の営業利益	744,467

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ポンプ事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,132,634	1,003,961	9,136,596	214,716	9,351,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,132,634	1,003,961	9,136,596	214,716	9,351,313
セグメント利益	792,299	76,584	868,883	44,421	913,304

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	868,883
「その他」の区分の利益	44,421
四半期連結損益計算書の営業利益	913,304

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ポンプ事業」セグメントにおいて、平成29年4月12日付でHydrodyne(India) Pvt. Ltd. 社株式の51%を取得したことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては886百万円であります。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	8,874,594	23.4
電子部品事業 (千円)	1,003,998	△14.8
報告セグメント計 (千円)	9,878,593	18.0
その他 (千円)	181,629	18.1
合計 (千円)	10,060,222	18.0

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
ポンプ事業	9,508,608	30.8	7,431,215	11.6
電子部品事業	1,029,861	△8.0	184,476	7.4
報告セグメント計	10,538,470	25.6	7,615,691	11.4
その他	271,117	22.9	125,592	10.4
合計	10,809,587	25.6	7,741,284	11.4

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	前年同期比 (%)
ポンプ事業 (千円)	8,132,634	5.6
電子部品事業 (千円)	1,003,961	△14.8
報告セグメント計 (千円)	9,136,596	2.9
その他 (千円)	214,716	7.7
合計 (千円)	9,351,313	3.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。